

Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区
スローガン

ロータリーはステージ・
みんなが輝く！

高田ロータリークラブ
会長方針

ロータリーに共に参加し、
共に学び、共に楽しもう



2024-2025年度

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

第2560地区ガバナー 南雲博文

高田ロータリークラブ会長 飯塚宏佳

幹事 細野仁

広報・会報・雑誌委員会：

箕輪賢一 倉田 亮 阿曾 晋

第27回例会 3月28日(金)

No.27

会長挨拶 ●飯塚 宏佳



こんにちは。3月28日、今日から観桜会がスタートいたしました。私の家の前の高田城址公園の入り口と言ったらいいでしょうか、そちらの桜が標本木（正確には新潟の標本木は新潟市の新潟気象台構内に有るようなので）高田城址公園の開花宣言の基準木よりも早く咲くのですが、昨日の段階ではまだ蕾の先端がようやく赤く成ってきたくらいでまだ固く、開花はもう少し先になりそうです。

ところで皆さん上越タイムス社さんで発行されている「まるごと上越！」の4月号読まれましたでしょうか？今年には儀明川沿いのコヒガンザクラ並木を新たなお花見スポットとする為、観桜会期間中にライトアップをする目的でクラウドファンディングにて募金を募り、無事目標額を達成されたようです。今年には綺麗な夜桜が見られると思いますので楽しみにしたいと思います。コヒガンザクラはソメイヨシノより10日ほど開花時期が早いとのことで、高田城址公園の桜よりも早く楽しんで、食べる場所や呑む所も近くロケーション的にも良いのではないのでしょうか。昨日見てきましたが、まだ咲き

だした樹が2～3本といったところでした。見頃は来週からになるのでしょうか。来週は当クラブのお花見例会ですので高田城址公園のソメイヨシノには早いかもしれませんが、アートホテルさんから出たら綺麗なコヒガンザクラを見たいと思います。もちろん流石は上越タイムスさんで、しっかりこのコヒガンザクラが高田ロータリークラブの奉仕活動により平成11年に植樹が始まったことが書かれております。このことがロータリーを多くの人に知ってもらえるキッカケに成ってくればと期待しております。

さて桜の季節は出会いと旅立ちの季節でもあります。本日は入会式が有りますし、そして退会のご挨拶も先週に引き続きございます。後ほどよろしく申し上げます。

本日は 小林古径記念美術館 学芸員 市川高子様より卓話いただきます。ご清聴よろしく申し上げます。



出席報告

出席率 95.74%

メイクアップ

大谷光夫君・霜村 浩君・原野聖子君：
3/15 2025-26 年度 PETS
鴫崎

セレモニー



入会式：
阿曾 晋君
(株新潟日報社上越支社長)

会員インフォメーション



山本 陽君：
退会の挨拶藤正義

委員会報告

社会奉仕委員会：大船渡大規模山林火災被害における支援について

幹事報告

配布物：週報No.25・26、
回覧物：新会員推薦カード5枚セージ、
報告：次週4/4は観桜会

卓話： 生誕110年 濱谷浩展について



小林古径記念美術館 学芸員 市川高子様

上越にゆかりのある写真家・濱谷浩をご存じでしょうか。今から80年前、昭和20年に高田に疎開し、6年あまりを寺町の善導寺で暮らしました。高田や桑取には、濱谷の写真やゆかりの品々を今でも大切に持っているお宅、そして生前の濱谷を知る方もいます。しかし時がたつにつれて、写真家・濱谷浩について知る人も少なくなっています。

濱谷は、疎開してきた作家や芸術家をはじめ、高田や桑取の人々と広く親交を結びました。昭和14年に高田の民俗学者、市川信次と出会って以来、堀口大學や小田嶽夫、戸張幸男、齋藤三郎など、多くの友人知人に恵まれました。昭和20年には、小田嶽夫が中心となって設立した「上越文化懇話会」(現・高田文化協会)の会員にも加わっています。翌年1月には同会主催で濱谷の初個展を開催し、大盛況をおさめました。

戦後、経済的に困窮していた濱谷を援助しようと、市川信次らが中心となって立ち上げた『福縁随處(ふくえんずいしょ)』には、多くの市民が名を連ねています。その後、東京での仕事が増えたのを機に昭和27年、高田を離れ、神奈川県大磯町へ居を移しました。濱谷にとって高田での生活は、戦後の困窮した状況の中で、多くの人々の助けを得て、風土と人間という独自の視点を見出し写真家として大きく成長していった時期でもあったのです。

ぜひ当館で開催中の展覧会「生誕110年 濱谷浩展」をご覧ください、世界的に著名な濱谷浩の作品から「写真の力」を感じていただければと思います。

